カンボジア国 実践的工業基礎技術の習得を目的とした人材育成事業にかかる

基礎調査

企業・サイト概要

■ 提案企業:(株)TOMONARI

■ 代表企業所在地:東京都世田谷区

■ サイト:カンボジア国プノンペン特別市、シェムリアップ州



基礎技術教育に用いる汎用平面彫刻機

カンボジア国の開発課題

- ・産業人材の確保・育成が急務である
- ・企業の欲する実践的技術人材や今後の産業を担う 中間層が不足している
- ・カンボジアと日本の文化・歴史的背景に起因する労働管理・就業思想の差異による離職が多い

中小企業の製品・技術

- ・全てのものづくりの基礎である実践的基礎教育に最 適な日本の「アナログ工業技術」
- ・熟練技術者による実践的な指導⇒理論という段階教育が可能(基礎技術、実機操作、機械のメンテナンス・修理等)



日本の中小企業の事業戦略

- 1. 人材育成:日本の「アナログ工業技術」を用いた実践的基礎訓練の提供
- 2. 人材紹介:人材と企業を結び、双方にとってメリットのある雇用を実現
- 3. 請負講座:企業に対する企業内人材育成の実施
- 4. 労務管理コンサルティング: 持続的な雇用環境実現のためのコンサルティングの実施



中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- 工業人材を育成することで、カンボジアの今後の産業基盤となりうる工業分野の確立に資する
- ・基礎的な技術を身に付けることで、カンボジア人労働者の所得向上、雇用創出に寄与
- ・中長期的には地方展開を行うことで、地方と都市の格差および地方における産業人材育成にも貢献